



5

第5号

2021年1月発行

西宮市立西宮東高等学校

図書委員会 広報部

特集 仲間を大切にしたいくなる本

『チア男子！！』 著 朝井リョウ

「桐島、部活やめるってよ」の著者がえがく青春小説です。

柔道一家に生まれた大学生の晴希は、自分の実力に限界を感じて、ケガをきっかけに柔道を辞めてしまいます。そんな時、幼馴染でもあり、同時期に柔道を辞めた一馬から「チアリーディングをしないか。」と誘われます。

個性豊かな登場人物たちが、時にぶつかり、時に励ましあいながら成長しあう姿に感動し、仲間との絆を再確認できるお話です。

ぜひ、読んでみてください。

『世界は「」で満ちている』 著 桜井伊代

冬休み明けのクラスの雰囲気の前までと何か違う。

親友の涼ちゃん何で目を合わせてくれないのだろう。

楽しみにしていたはずの新学期が、友達とのトラブルでいつの間にか孤独になってしまい、地獄の新学期へと変わってしまった由加。そんな由加に幼馴染のゆう君が現れる。ゆう君とは、中学校で再会してから距離をおくようになっていた。真面目だったはずのゆう君が金髪になり、さらに学校にもほとんど来なくなっていたからだ。ゆう君にも、悩みの種があったのだ。

トラブルだらけの由加の人間関係はどうなるのか。

『砂漠』 著 伊坂幸太郎

この小説は、とある大学生の男女5人組が、4年間の大学生活の中で様々なことを経験しながら成長していく、笑いあり涙ありの物語です。しかし、これはただのありふれた青春小説ではありません。

個性豊かで魅力的なキャラクター、伊坂作品特有のテンポの良く機知に富んだ会話、登場人物たちが経験する少し非現実的な出来事…。一度読み始めるとあなたもきっとこの異色な伊坂ワールドに惹きこまれていくでしょう。

「学生時代を思い出して、懐かしがるのは構わないが、あの時は良かったなと逃げようようなことは絶対考えるな。」

これを読めば、一瞬ですごる学生時代の瑞々しさや切なさを肌で感じ取り、そして何より、今となりにいる仲間を大切にしたいくなるのではないのでしょうか。

『氷菓』 著 米澤穂信

何事にも消極的な主人公折木奉太郎は、「省エネ主義」を信条とする神谷高校の一年生です。奉太郎は部活に入る気がありませんでしたが、姉から届いた手紙のせいで古典部に入部することになります。しかし、古典部には同じ一年生の千反田えるも「一身上の都合」で既に入部していました。くわえて奉太郎の中学からの付き合いである福部里志も入部し、思わぬ形で古典部は復活してしまいます。その千反田えるという人物は強烈な好奇心の持ち主で、その好奇心が原因で奉太郎は様々な”面倒ごと”に巻き込まれていきます。どんな面倒ごとにも巻き込まれ、そして奉太郎はどうやってそれを解決していくのでしょうか。

古典部の部員たちと日常の謎が絡み合ったミステリー小説です。古典部の仲間たちの日常、覗いてみてはどうでしょうか。